

## ミャンマー

### 1. 概況

ミャンマーは、豊富な地下資源を有し、特に、石油・天然ガス、石炭、銅、鉛、亜鉛、金、銀、錫、タングステン、鉄等の賦存ポテンシャルが高いとされているが、政府は開発資金を有しておらず、外資に依存せざるを得ない状況にある。しかしながら、石油・天然ガス部門を除くと、鉱物資源開発プロジェクトへの外国投資は、極めて低調であり、2001年の鉱業部門（大半が宝石等の販売収入）のGDPへの貢献は、わずか0.45%となっている。稼行鉱山は、合弁企業のMonywa鉱山が生産を伸ばしている他は、Kyaukpahto（金）、Bawdwin、Bawsaing、Yadanatheingi（ベースメタル）等の国営鉱山は、採掘、選鉱及び精錬規模の縮減が続いており、最小限の操業能力の維持を図っている状況である。

この他、金、ひすい、硬玉等宝石原石の小規模の国内民間企業が事業を継続している。

### 2. 鉱業政策

鉱業法は、国連の支援により1994年に制定され、1996年には鉱業規則が発布されている。また、鉱物資源探査のための国際入札を1994年、1995年、1998年に実施してきており、最近では、第4回となる入札が2002年11月に実施されたが、2社が応札したのみの結果に終わったようである。

鉱山省地質調査・探査局(DGSE)は、国内全土の地質図作成を実施してきており、2004年末までに、国土の84.7%にあたる572,994平方マイルの地域についての作成を完了しており、2006年までには、全土をマッピングする予定とされている。

### 3. 主要鉱物の生産動向

主要鉱物の生産量は以下のとおり。

主要鉱物生産量

	2001	2002	2003
クロム鉱(千t)	3	3	3
銅カソード(t)	25,800	27,500	27,900
金(kg)	200	200	100
銀(kg)	1,804	1,500	1,500
鉛(t)	1,105	1,000	1,000
錫精鉱(t)	171	170	170
錫・タングステン精鉱(t)	41	40	40

Source: USGS 推定を含む。

### 4. 鉱山会社活動状況

#### ① ME 1 (No.1 Mining Enterprise)

Bawdwin 鉱山は、最大の鉛・亜鉛鉱山であり、精錬した銀・鉛、亜鉛精鉱等の生産を行っている。同鉱山は、露天及び坑内採掘を行っており、露天採掘により生産された酸化鉱は、Bawdwin 選鉱場において処理を行い、坑内堀の硫化鉱は、隣接するNamtu 選鉱場で処理されている。生産は、2,500t/年(鉛)程度が目標となっている。

Bawsaing 鉱山は方鉛鉱、白鉛鉱及び鉛精鉱を生産、また、Yadanatheingi 鉱山は方鉛鉱を生産している。

#### ② ME 2 (No.2 Mining Enterprise)

Kyaukpahto 鉱山は、日産1,500t程度の金鉱石生産規模となっている。

Phayaung taung 鉱山は、ME2とGolden Point Family Co.社の合弁による鉱山であり、年間15kg程度の金生産量を目標としている。

#### ③ ME 3 (No.3 Mining Enterprise)

ME3は、China Non-Ferrous Metal Mining and Construction Co.,Ltd.との間で、Mandalay北方約200kmのTagaung Taung地区におけるニッケルの探査・FS実施に係る協定を締結した。3千万t(Ni:1.19%)及び8千万t(Ni:0.53~1.0%)の鉱量が見込まれている。

### 5. 鉱山・精錬所活動状況

#### Monywa 鉱山

Myanmar Ivanhoe Copper Co. Ltd. (MICCL)とME1との50:50合弁事業であり、ミャンマー中央西部Sagaing管区、Monywa地域に位置し、SX-EW法により、銅カソードを生産している。2004年の生産量は、前年比14%増の31,756tであった。

現在、S&K 鉱山(Sabetaung及びKysisintaung 鉱体)を年産39,000tまで拡張し、2006年までに更に50,000tに拡張。その後、S&K 鉱山の6km南に位置するLetpadaung 鉱体を開発し、合計で年産200,000tにまで拡張すべく、電力供給策を含め検討が進められている。

#### Modi Taung プロジェクト

Ivanho Myanmar Holdings (Exploration)

Ltd. 社が、Mandalay から約 150 k m 南東の、Modi Taung 地区（第 4 次入札におけるブロック 10）において、探査を進め、高品位の金鉱脈を捕捉した。同社は、採掘計画の策定を終え、政府に開発許可を申請している。

## 6. 我が国との関係

1998 年に丸紅と千代田化工建設のコンソーシアムが Monywa 鉱山において、年 25 千 t 規模の SX-EW プラントを製作し、操業を開始した。2004 年 10 月には、現地業者の手により 14 千 t のプラントが完成し、生産能力は年 39 千 t に拡張した。

また、JICA（国際協力機構）は、地質情報に関する GIS データ整備を目的として、2003 年 6 月より長期専門家 1 名を派遣している。

（2005. 5. 27 / バンコク事務所 市原 秋男）